

第6回「ぼくたちの地球を守ろう」小学生・中学生作文コンクール
第3回「アジアこども会議」

報 告 書

期間 1996年4月1日(月)～1996年8月21日(水)

主催 地球こどもクラブ

後援 環境庁 文部省 外務省 仙台市 仙台市教育委員会 毎日新聞社
毎日小学生新聞 毎日中学生新聞 NHK TBS

協力 北京市教育委員会外事処 ソウル特別市教育庁 タイ王国大使館学生部
フロンティア・フォー・オブ・パンコ ケハティ(インドネシア)

協賛 日本万国博覧会記念協会 (財)イオングループ環境財団

「ぼくたちの地球を守ろう作文コンクール」 運営組織図

主催／地球こどもクラブ

後援／環境庁 文部省 外務省 仙台市 仙台市教育委員会 毎日新聞社
毎日小学生新聞 毎日中学生新聞 NHK TBS

協力／北京市教育委員会外事処 ソウル特別市教育庁 タイ王国大使館学生部
フレンドシップフォーラム・オブ・バンコク ケハティ

協賛／東京電力（株） 三井物産（株） 三菱重工業（株） 富士ゼロックス（株）
安田海上火災保険（株） （株）日立製作所 （株）東芝 日本電気（株）
東京ガス（株） 関西電力（株） 東北電力（株） 中部電力（株）
日本電信電話（株） （株）NTTメディアスコープ 清水建設（株）
大成建設（株） 鹿島建設（株） 鉄建建設（株） （株）スプリングス
日本マクドナルド（株） 東電環境エンジニアリング（株） （株）開明技術

特別協力／勝山企業（株） ホテル仙台プラザ

特別協賛／日本万国博覧会記念協会 （財）イオングループ環境財団

はじめに

1991年、環境庁創立20周年記念事業としてスタートした「ぼくたちの地球を守ろう」小学生・中学生作文コンクールは、今回で6回目を迎えました。

このコンクールは、21世紀を担う子供たちを対象に、環境保全についての意見や活動報告を作文という形で募集します。「今をどのように受け止め、感じているのか」自分の考えを発表する場を与えると共に、作文を書くことによって改めて地球環境の問題について考えてほしいと企画しています。

1992年は6月に開催された環境サミットに併せ、ブラジルの子供たちにも募集を呼びかけ、昨年第5回は中国・韓国・インドネシアの子供たちに、そして今年度第6回は新たにタイを加え、5ヶ国の子供たちがコンクールに参加してくれました。

応募総数は前回は上回る4,156作品でした。年々全国的な拡がりを見せており、今回は学校単位での応募が特に多く、全校生徒分をまとめて応募された学校もありました。

8月19日（月）宮城県仙台市 勝山館にて作文コンクール名誉総裁の高円宮両殿下をお迎えし、「第6回授賞式」と「第3回アジアこども会議」を開催いたしました。当日、TBC（東北放送）午後6時30分のニュースで紹介され、また9月1日NTV（日本テレビ）皇室アルバムで放送されました。さらに毎日新聞や地元紙などでも取り上げられました。

「第3回アジアこども会議」は、海外の入賞者の訪日を記念して開催いたしました。自分の住んでいる街の環境についての報告や、活動していることなどについての意見交換が行われました。

以下、詳細をご報告申し上げます。

第1部

第6回作文コンクール授賞式

第5回作文コンクール授賞式

1 応募要項 第6回「ぼくたちの地球を守ろう」小学生・中学生作文コンクール

テーマ	「私たちの街をきれいにしよう」 環境保全問題に関する考えをまとめる
賞	高円宮賞 (小・中各1名) 環境庁長官賞 (小・中各1名) 優秀賞 (小・中各2名) 地球子どもクラブ賞 (小・中各2名) 特別賞 (若干名)
審査基準	地球環境に対する純粋で素直な表現力と視点を競う
審査委員長	江森 陽弘 (ジャーナリスト/元朝日新聞編集委員)
審査委員	赤池 幹 (毎日小学生・中学生新聞編集長) 山谷えり子 (サンケイリビング新聞編集長/生活ジャーナリスト) 森 ミドリ (音楽家) アグネス・チャン (歌手) 長沢 光男 (ジャーナリスト/元朝日新聞編集委員) 浅井 清恵 (千葉県御宿中学校教諭) 杉山 多恵 (環境庁環境企画調整局環境保全活動推進室・環境学習専門官)
応募資格	小学4年生から中学3年生まで
応募方法	400字詰原稿用紙 3枚以内 中国語・韓国語・インドネシア語・タイ語 上に同じ 作品書き出しに作品名/氏名/学校名記入 作文用紙裏に氏名・連絡先・年令・国籍を記入
応募先	〒107東京都港区赤坂7-10-9 赤坂伊藤ビル6F 地球子どもクラブ「ぼくたちの地球を守ろう作文コンクール」係
応募締切	日本語作品：1996年5月10日(当日消印有効) 外国語作品：1996年4月30日必着
注意	応募作品は返却できませんのでご了承下さい。また、作品の著作権・所有権は地球子どもクラブに帰属します。
発表	入賞者には事務局より直接ご連絡致します。 新聞・雑誌「SOLA」紙上他
授賞式	1996年8月19日(月)
主催	地球子どもクラブ
後援	環境庁・文部省・外務省・毎日新聞社・毎日小学生新聞・毎日中学生新聞・NHK・TBS
協力	北京市教育委員会外事処・ソウル特別市教育庁・タイ大使館学生部・ケハティ
賛	日本万国博覧会記念協会・(財)イオングループ環境財団

2 授賞式

- 日 時 1996年8月19日(月)
午後1時30分～2時30分
- 場 所 勝山館(宮城県仙台市)
瑞雲の間にて
- 出席者 来賓 高円宮両殿下(作文コンクール名誉総裁)
岩垂寿喜男(国務大臣・環境庁長官)
藤井 黎(仙台市長)
- 近藤 次郎(地球子どもクラブ会長)
愛知 和男(地球子どもクラブ副会長/衆議院議員)
大和田泰夫(地球子どもクラブ理事/東北電力株式会社副社長)
林 利夫(地球子どもクラブ会員/日本マクドナルド株式会社)
- 審査員長 江森 陽弘(ジャーナリスト/元朝日新聞編集委員)
審査員 赤池 幹(毎日小学生・中学生新聞編集長)
杉山 多恵(環境庁・環境学習専門官)
森 ミドリ(音楽家)
浅井 清恵(千葉県御宿中学校教諭)
長沢 光男(ジャーナリスト/元朝日新聞編集委員)
- 入賞者 18名
父 兄 27名
マスコミ 毎日新聞社/東北放送/宮城テレビ放送
スタッフ 10名
- 進 行 午後1時30分、高円宮両殿下をお迎えし「第6回授賞式」が開会致しました。地球子どもクラブ会長 近藤次郎氏の開会の挨拶のあと、高円宮殿下よりお言葉を頂きました。続いて岩垂寿喜男環境庁長官、藤井黎仙台市長より祝辞が述べられ、授与に移りました。
本日の出席者は、受賞者21名中18名で、特別賞の中国・韓国・インドネシア・タイの子供たちは、授賞式出席のため訪日しました。
閉会后、受賞者は高円宮両殿下と共に記念撮影をしました。

3 入賞者一覧

高円宮賞	兼本 祐輔 (長崎県美津島町立北部小学校5年) 由尾 奈美 (慶應義塾湘南藤沢中等部2年)
環境庁長官賞	宇部 里香 (私立清泉小学校6年) 林 健太郎 (大阪府追手門大手前中学校3年)
優秀賞	宮崎 由美 (栃木県黒羽町立片田小学校6年) 村瀬 玄悟 (愛媛県今治市立今治小学校6年) 小山 修平 (私立新島学園中学校2年) 石井久美子 (千葉県御宿町立御宿中学校2年)
地球こどもクラブ賞	西上 友理 (横浜市立白根小学校5年) 山田 圭祐 (大阪市立鷹合小学校4年) 大学 杏記 (仙台市立中野小学校5年) 椛島 郁里 (静岡県浜松市立西部中学校1年) 野村さゆり (ベルギー・ブラッセル日本人学校中学2年)
特別賞	ヤン・ヨーヨー (中国/小学校6年) ルオ・リン (中国/中学校3年) ユン・ヘミン (韓国/小学4年) チェ・ユジン (韓国/小学5年) アディステイ・マヤクルニサリ (インドネシア小学4年) インドロ・アナンダ・ソエバジョ (インドネシア小学5年) ウィラヤー・ラタナスック (タイ中学2年) アディソン・ウィニワッタナクン (タイ中学2年)

4 作文コンクール入賞記念品

高円宮賞	図書券 5万円分 / 単行本
環境庁長官賞	図書券 3万円分 / 単行本
優秀賞	図書券 2万円分 / 単行本
地球こどもクラブ賞	図書券 1万円分 / 単行本
特別賞	宮城県民芸品

5 調査結果

応募総数4,156作品の内訳は、次頁のとおりです。

募集告知に対する各マスコミの拡がりや、全国都道府県の環境局、教育委員会のご協力により、応募数の増加や地域の拡がりが増えたものとなって参りました。また、今回の特徴としては、学校単位の応募が多く見られました。

作品の内容としては、テーマ「私達の街をきれいにしよう」という設定により、ポイ捨てやゴミ問題について書かれているものが多かったようです。

今回、初めて具体的なテーマ設定をしましたが、子供たちが身近な問題から作文を書きやすいようにとの試みからでした。しかし、似たような内容が多く、全体的には昨年よりも「子供らしさ」や「表現力」の弱さが目立ち、テーマ設定に対する課題を残しました。

小学生部門

実際に活動している内容が多く見られました。学校やクラス単位の活動、地域の活動に参加したときの体験談など、具体的でその時の感想が率直に表現されています。

活動内容としては、「空き缶拾い」が最も多く、続いて「地域清掃」など。また、地域に生息する稀少動物を保護する活動を続けている学校もありました。

「大人が環境保護のためのルールを守らないから、子供は大人の行動を見てまねをする。大人がお手本になって欲しい」と、訴える子供が数名いました。

中学生部門

年齢的に個人レベルで行動していることが目立ちました。例えば地域の活動に一人で参加して友人に広めたり、小学生の時に始めた課題を中学生になった今、本格的に研究したりしています。

文章力の優れた作品が多く見られたのも嬉しいことでした。身近なペーパータオルから世界の資源問題へと展開する作品や、美しい町並みが作品を読んでいる人の中にも浮かんでくるような作品。

環境問題を身近に捉え、真剣に考えている様子が伝わってきました。将来の夢として、環境保全に役立つ研究者になりたいなど、頼もしい意見が男女問わず数多くありました。

世界の日本人学校からの作品は、ヨーロッパなど環境保全に熱心な国からは学ぶところが多くありました。

国内応募状況 (単位:人)

県名	合計	小4	小5	小6	中1	中2	中3
北海道	192	7	3	20	2	23	137
青森	131	6	19	45	5	14	42
岩手	23	1	12	2		1	7
宮城	67	5	5	28	2	23	4
秋田	5			3		1	1
山形	13	3	1	5	1	2	1
福島	36		7		5	13	11
茨城	98	21	33	42		2	
栃木	66		14	10	1	26	15
群馬	214	10	21	12	20	142	9
埼玉	673	32	51	334	108	90	58
千葉	65	2	3	6	26	26	2
東京	144	4	8	16	13	23	80
神奈川	395	5	10	15	175	50	140
新潟	1		1				
富山	60		53		4	2	1
石川	5	2	1	1		1	
福井	38	3	3	29		3	
山梨	3		1	1	1		
長野	20	2	9	8	1		
岐阜	39	10	2	26		1	
静岡	51	5	13	8	8	5	12
愛知	21	2	6	8			5
三重	4			3		1	
滋賀	205	7	13	19	41	93	32
京都	115	4	11	74	2	24	
大阪	107	10	3	67	2	14	11
兵庫	81	8	40	7	16	5	5
奈良	101	8	7	11	9	28	38
和歌山	53	8	29	7	6	3	
鳥取	8	8					
岡山	25		6	15	2	1	1
広島	3			2			1
徳島	49	2	10	10	6	19	2
香川	30	8	10	7		2	3
愛媛	50	6	8	15	5	8	8
高知	1			1			
福岡	39	1	18	19		1	
佐賀	7			1	6		
長崎	124	36	16	45	14	5	8
熊本	92		1	4	20	55	12
大分	25	5	10	10			
宮崎	12				1	4	7
鹿児島	65	5	25	8	5	10	12
沖縄	28	1	3	8	1	11	4
合計	3,584	237	486	952	508	732	669

日本人学校応募状況（単位：人）

国名	都市名	計
カナダ	バンクーバー	14
	トロント	4
アメリカ	中部テネシー	43
	ヒューストン	12
ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ	11
オランダ	アムステルダム	102
	アムステルダム補習	12
	ロッテルダム	6
ベルギー	ブラッセル	31
インド	ニューデリー	19
スペイン	マドリッド	10
インドネシア	メダン	7
オーストラリア	クィーンズランド	16
合計	13校	287

海外応募状況（単位：人）

国名	都市名	計
中国	北京	100
韓国	ソウル	120
インドネシア	ジャカルタ	26
タイ	バンコク	37
合計	4ヶ国	283

総合計（単位：人）

国内	3584（不明2点）
日本人学校	287
海外	283
総合計	4,156

第2部

第3回アジアこども会議

第3回「アジアこども会議」

日 時 1996年8月19日(月)
午後2時45分～4時00分
場 所 勝山館(仙台市)
瑞雲の間にて

1 テーマ 「私たちの街をきれいにしよう」
5ヶ国の子供たちが集い、会議にて採択された項目を『こどもアジェンダ21』として宣言する。

2 来 賓 高田宮両殿下
近藤 次郎(地球こどもクラブ会長)

3 出席者(こども) 作文コンクール入賞者 18名
宮城県内/仙台市内小・中学生 16名

(大人) 江森 陽弘(作文審査委員長)
森 ミドリ(作文審査員)
赤池 幹()
浅井 清恵()
長沢 光男()
林 利夫(地球こどもクラブ理事)

(進行役) 杉山 多恵(環境庁/作文審査員)
鈴木 恵子(地球こどもクラブ)
佐藤久見子(宮城県三本木小学校)
加藤 裕司()

4 進 行

近藤次郎地球こどもクラブ会長の挨拶で開会しました。進行役の杉山多恵氏、鈴木恵子、そして今回開催地である宮城県から進行役として参加の加藤君と佐藤さんより挨拶があり、議事進行となりました。

まずはじめに、出席者一人一人に『グットマイク』が回り、自己紹介をかねて「私の住む街の自慢と、ここ一週間で私の行った地球に対して優しい行動」を発表してもらいました。そのあと、勇気を出して『バットマイク』を持って発言してくれた子供たちもいました。

海外から参加の子供たちからは、「地球の環境を守るために、これからもみんなで連絡を取り合いながら、一緒に頑張りたい」などの嬉しい提案がありました。また国内の湖や、川などについての研究発表も行われました。以下、出席者の主な意見です。

[グットマイク]

- 海岸のゴミ拾いをしました。
- 歯磨きの時など、水を止めました。
- 紙を大切にしています。（再利用しています）
- ものを大切に使うことです。
- リサイクル（トレー・紙パック・缶）をしました。
- 植林をしたことです。

[バットマイク]

- お菓子の袋や空き缶を投げ捨てたことがあります。
- 空き缶を生ゴミと一緒に捨ててしまいました。
- 夜遅くまで電気をつけていました。
- フライパンの油をそのまま流してしまいました。

「油一滴分の水の汚れをきれいにするためには、バケツ30杯分の水が必要なんですヨ」（杉山談）

[その他の意見]

- 人口増加に伴い、資源不足が考えられるので無駄遣いをなくそう。
- タイでは植林を行っていますが、木が増えれば水も空気もきれいになります。
- 中国の稀少動物パンダを保護して行きたいと思います。
- 水の大切さを家族や近所の人に教えてあげています。
- 家族で分担を決めて環境を守るためにいつも行動しています。

などの発言がありました。

全員の発言が終了したところで、進行役が子供たちから出た意見を採択し、宣言書を作成しました。これは、今回の会議で子供たちに今の気持ちをいつまでも持ってもらう、また今後の生活にこの決意を実行しようという気持ちを『こどもアジェンダ21』として宣言するものです。出席した子供たち全員がサインをし、5ヶ国の代表5名が近藤次郎 地球こどもクラブ会長に手渡しました。宣言書は近藤会長より、後日岩垂寿喜男環境庁長官に届けられました。

こどもアジェンダ21宣言書

第3回「アジアこども会議」

テーマ 私たちの街をきれいにしよう

1. 水や木などの資源を大切にしよう
2. 街や川をきれいにしよう
3. ムダ使いをやめよう
4. リサイクルに努めよう

加藤裕司
 0011 27041001-9071
 0387 inudj

Adisty Mayakwiniasari

최유진

윤혜민

大学杏記

小山修平

駱琳 山田圭祐
 田 麗 麗 兼本祐輔

宮崎由美

石井久美子

宇部里香

西上友理

由尾奈美

椛島郁里

主催 地球こどもクラブ

平成8年8月19日

懇親会

日 時 1996年8月19日(月)
午後5時～6時30分

場 所 ホテル仙台プラザ
松島の間

作品発表 高円宮賞 『みんなで地球を守ろうよ』 兼本 祐輔

作文コンクール高円宮賞受賞の兼本祐輔君に作品を朗読してもらいました。

その後、近藤会長の挨拶で懇親会が開催しました。会場には高円宮両殿下に御臨席を頂き、各国の子供たちとご歓談いただきました。子供たちは、国境を意識せず身振り手振りでの会話を楽しみ、アドレスの交換など交流を深めていました。

環境視察／仙台市内見学

日 時 1996年8月19日(月)
午前8時30分～午後12時30分

見学場所 仙台市葛岡工場(清掃工場)
仙台市リサイクルプラザ
青葉城跡

授賞式・アジアこども会議に先立ち、出席者は仙台市内見学に出かけました。

作文コンクール各国の入賞者、仙台市内小中学生及び父兄が参加しました。

大型バス2台に分乗し、子供たちは皆一台に乗り込み車内での交流も見られました。

葛岡工場では、見学コースを1時間以上かけてまわり、職員の方の説明をメモを片手に熱心に聞いている姿が印象的でした。

青葉城跡では、資料展示館で仙台の歴史を学びました。その後、日本マクドナルド(株)のご協力で昼食をとりました。子供たちはみんなで楽しそうに食事をとり、交流を深めていました。

以上